

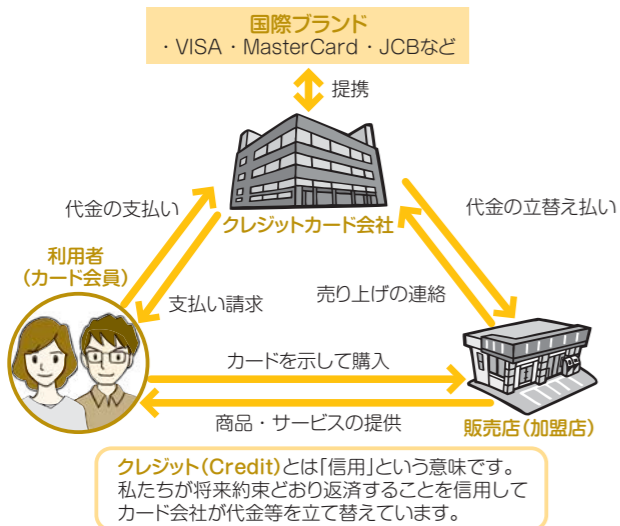
キャッシュレス決済!見えないお金とのつきあい方

〜クレジットカード・電子マネーの話〜

クレジットカード

クレジットカード会社が利用者に代わって販売店に代金を支払い、利用者は後日クレジットカード会社にその代金を返す仕組みです。

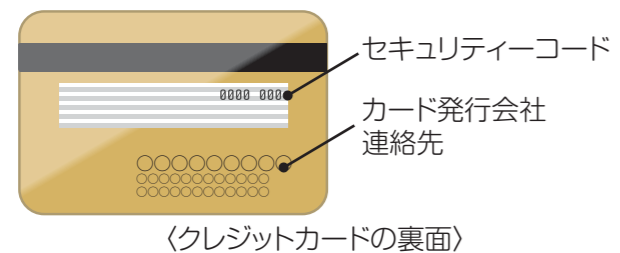
クレジットカード会社と販売店、利用者の三者間に契約関係があり、販売店は加盟店、利用者はカード会員と呼ばれます。



国際ブランドのついたクレジットカード

三者間の契約だけでは、1枚のカードで使える店に限られてしまいます。そこで、世界中の多くの店で買い物ができるよう、カード会社同士がお互いの加盟店でカードが利用できる大きな決済システムを作りました。これを「国際ブランド」と呼んでいます。国際ブランドには、VISA、MasterCard、JCBなどがあります。同じブランドマークのある世界中の加盟店でカードが利用できます。

国際ブランドのついたクレジットカードには、裏面にカード発行会社名や連絡先、また不正利用を防ぐためのセキュリティコードなどが書かれています。



電子マネー

電子マネーとは、バリュー(お金の価値)を電子データに変えて商品やサービスの支払いに使用するものです。あらかじめバリューをチャージ(購入)し、その電子データをやり取りする仕組みです。電子マネーの運営会社(カード発行会社)が利用を廃止する場合以外、原則として払い戻しはできません。カードを持つための審査がないので、子どもから高齢者まで誰でも簡単に持つことができます。ただし無記名のカードが多く、落としてしまうと他人に使われる危険性があります。第三者にギフトとして渡せるものもあります。

バリューがどこに記録されているかで、IC型とサーバ型の2種類に分けられます。

IC型電子マネー

ICチップを埋め込んだカード自体にバリューが記録される電子マネーです。

電車に乗る時に使うIC型乗車券や量販店などが発行するIC型電子マネーがあります。この他、携帯電話やスマートフォンにICチップが搭載され利用できるものもあります。

改札機やお店にあるカードリーダー(読み取り機)とカードとの間で通信をして、バリューをやり取りします。

バリューをチャージする方法には、現金を前払いするプリペイド型と、残金が設定額を下回った時にクレジットカードと関連づけてオートチャージ(自動購入)されるポストペイ型があります。



クレジットカードや電子マネーについて、不安に思ったり、トラブルにあった場合は、

★目黒区消費生活センター 03-3711-1140 へご相談ください。
★一般社団法人日本クレジット協会 03-5645-3361

サーバ型電子マネー

電子マネーの運営会社のサーバでバリューの管理をする電子マネーです。最近はサーバ型プリペイドカードの利用が急増しています。特にコンビニや量販店でゲーム関係や音楽ダウンロード用のプリペイドカードが多く販売されています。カード自体にはバリューは保存されません。利用者の手元にはプリペイドカード番号(ID番号)が発行されます。パソコン端末やスマートフォンから販売店のサイトにプリペイドカード番号を入力することで、購入分のバリューの範囲内で決済できます。この場合、カードそのものが手元になくても、プリペイドカード番号だけで利用することができます。



こんなトラブルに気をつけて!

「有料動画登録料が未納になっている。」と、スマートフォンに知らない事業者からショートメッセージが届いた。不審に思って連絡すると、「コンビニに行ったら11万円分のプリペイドカードを買って番号を連絡して」と言われた。

ここに注意!

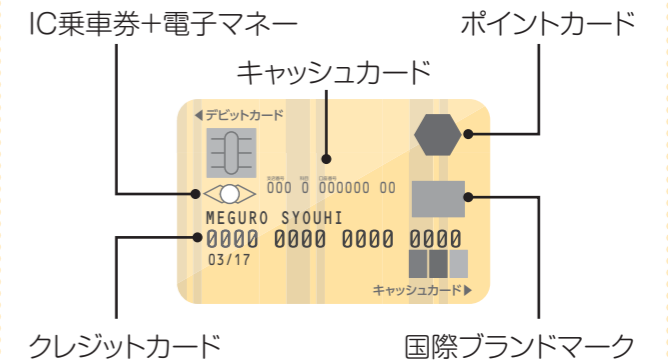
サーバ型電子マネーを悪用した架空請求と思われる。コンビニでプリペイドカードを買ったと、カードに書かれているプリペイドカード番号を入力するだけで、サーバに記録された残高を利用できます。カード自体にはバリューは保存されていないので、カードが手元になくても使えます。匿名性が高いため、架空請求などの詐欺に使用されるケースが多く発生しています。プリペイドカード番号を他人に伝えることは、現金を渡すことと同じで取り戻すことは困難です。聞かれても、絶対にプリペイドカード番号を伝えしないでください。

デビットカード

クレジットカード、電子マネー以外のキャッシュレス決済として、デビットカードもあります。原則、銀行口座残高を上限として、買い物代金を即座に口座から引き落とす仕組みです。クレジットカードと異なり後払いではないので、使いすぎを防止できます。デパートやスーパー、家電量販店などで利用できます。

多機能型カード

多機能型カードは、この1枚でキャッシュカードとして銀行でお金を引き出すことも、クレジットカードとして買い物をするのも、利用金額に応じてポイントを貯めることも、電子マネーとして電車に乗ることもできるカードです。



キャッシュレス時代の金銭管理

クレジットカードや電子マネーを利用するキャッシュレス決済によって、現金を持ち歩かなくても電車に乗れたり、ポイントを貯めたり、インターネットで買い物ができるようになりました。クレジットカードや電子マネーの利用明細などを上手に活用すれば、家計管理もしやすくなります。その反面、お財布の中から現金が減っていく実感がないので、自身でしっかり金銭管理をする必要があります。

また特に子どもは、健全な金銭感覚を身につける必要があります。「電子マネー=お金」という感覚を養うと同時に現金のやり取りを通しておつりを自分で確かめる体験も必要です。電子マネーを使う上でのルールを親子で話し合い、利用履歴は一緒に確認するようにしましょう。